

ヤマハ音楽振興会 同窓会通信

第35号 2018年6月発行

目次

続報！大懇親会2018	1
事務局だより	2
コーラス同好会	3
テニス同好会 2018年春季御殿場合宿レポート	4
ゴルフ同好会 第1回財団ヤマハOBゴルフ親睦会	5
ヤマハ・ガラ・コンサート	6
僕らのポップコンエイジ2017コンサート	7
ひろしまの集い、ポップコンおすすめCD、奥付	8

続報！ 財団同窓会 大懇親会 2018

12月1日 土曜日



クルーズクルーズ新宿

第11回ヤマハ音楽振興会同窓会(略称、財団同窓会)大懇親会2018は、先の「同窓会通信号外2018」(5月8日発行)でお知らせしました通り、12月1日開催です。皆様のご予定に書き込んでいただけましたでしょうか。

あらためて開催日当日の予定をお知らせいたしますと、会場は東京・クルーズクルーズ新宿。受付開始を午前11時から。開宴は11時30分で、終宴を14時30分ごろと見込んでいます。

エリアの皆様とは、昨年は第10回「記念大会」ということもあって各エリアでも「ミニ大懇親会」を同時開催。エリア会場とは、Skypeなどで東京会場とネット上で繋ぎました。ご尽力いただきましたエリアの世話役の皆様にはあらためて御礼申し上げます。今年は、各エリアの状況や意向などを意見交換をした上で、あるべき開催を模索したいと思います。事務局では「エリア係」を新設し、それぞれの担当者が対応させていただきます。

会場のクルーズクルーズ新宿は、通信環境(Wi-Fi)が

格段に向上。大懇親会のライブ中継やインターネット電話、Skypeなどの利用に充分に対応できる環境に進化しています。昨年実施したことの改善を試みた上で、これらのコミュニケーションツールの活用が大いに期待できる状況にあります。

〈参加者のお誘いのお願い〉

「大懇親会2018」の話題を機会に、お誘い合わせいただき、一人でも多くの皆様がこの会を楽しんでいただきたいと願っております。昨年は、12名の方々に初参加いただきました(写真下)。

未入会の方々にもお誘いいただければと思います。財団同窓会は、財団に勤務経験のある方はどなたでも入会できます。入会金や会費はございません。入会登録を済ませると、会報「同窓会通信」と「大懇親会案内状」が届くようになります。

連絡は同窓会事務局 z.dousoukai@gmail.com まで



2017年第10回記念「大懇親会」より、初参加の皆さん

事務局だより



ヤマハ音楽振興会同窓会（略称、財団同窓会）事務局はお二人の新任者を加え 19 人でしております。組織は、会長と事務局長の下、8 係で役割分担。今年度は新たに「エリア係」を設置し、エリアの皆様とより円滑で密な情報交換をいたします。上記写真は 5 月 8 日の事務局会時に撮影。出席できなかった方々もいらっしゃいますが、こんな顔ぶれで運営をしております。

活発に活動しております「同好会」につきましては、本誌の P3～5 をご参照ください。

会 長	事務局長	渉 外
酒 井 勉	烏 野 隆 弘	岸 昭 越 智 龍 尚
定例会議	管理・会計	広 報
西 岡 晃 大 屋 洵	柴 原 一 女 鶴 岡 悦 子 藤 巻 春 美（新任）	袈 川 昌 代 菅 義 夫
会員活性	大懇親会	同窓会通信編集
荒井輝四郎 渡部美穂子 緒方 実 雑賀辰雄 渡辺 章 小坂千賀子（新任）	烏 野 隆 弘 雑 賀 辰 雄 緒 方 実 菅 義 夫 川 口 哲 生 柴 原 一 女 袈 川 昌 代	菅 義 夫 荒井輝四郎 生 駒 芳 正 烏 野 隆 弘 緒 方 実 雑 賀 辰 雄 西 岡 晃 渡 辺 章
エリア担当		
北海道（札幌）	柴原一女	
東北（仙台）	烏野隆弘	
中部（名古屋）	西岡 晃	
近畿（大阪）	緒方 実	
中国（広島）	越智龍尚	
九州（福岡）	袈川昌代	

〈ご退任のお知らせ〉

石原勝年さんと石井ふみ子さんが、事務局を退任されました。財団同窓会発足から 10 年にわたり、「同窓会通信」の編集などにご尽力していただきました。大変ご苦労様でした。

コーラス同好会

東日本ヤマハOB会でコーラスを披露 5月18日(金) 銀座東武ホテル

石井ふみ子



2018年度東日本ヤマハOB会総会より

毎年5月に開かれるヤマハ東日本OB会の総会では、シニアアンサンブルと共に、コーラス同好会は常連です。今年も皆さんよくご存じの2曲、「アニーローリー」と「雲雀」(メンデルスゾーン)を披露。なんと「アンコール」のシャウト(予定の!!?)を受けて「野バラ」をドイツ語で歌いました。最後は、毎年会場全体で歌う「今日の日はさようなら」で、今年の舞台をしめくくりました(写真下)。



去年、ヤマハホールでの演奏という大舞台を経験した私たちは、今年初めて、一般のコーラスの皆さんと同じ舞台に乗ることになりました。『魁ーインビティショナル合唱祭』これは、指導いただいている森内秀夫さんが参加されている合唱団「魁」(さきがけ)のお声掛けで6つの合唱団が競演する会。この演奏に備えて、年初めから新曲に挑戦しています。合唱界で人気の信長高富氏と佐藤眞氏の現代曲。これまでは皆さんおなじみのレパートリーでしたが、今回は少し違って、日本の新しい時代の曲です。多少レベルの高さも感じながら、森内秀夫先生の指導で、なんとか少しづつ、発表レベルに近づいていると実感しています。

本番は7月1日、会場は江東区文化コミュニティ財団『森下文化センター』(東京メトロ半蔵門線『清澄白河』、または都営地下鉄新宿線『森下』または『菊川』駅からも、徒歩約8分)です。ヤマハOB混声合唱団にとって、初めての‘対外試合’。財団懇親会とは違う舞台を、是非ご覧ください。(入場無料)

コーラスメンバー募集中です。毎月第二、第四木曜日 13:30 ~ 16:00
会場は、港区勤労福祉会館 (JR 田町または都営三田線三田)

下目黒住区センター (財団近くの朝日屋のすぐ裏) が中心です。

ご連絡は：中根佐多子さん satakonakane@gmail.com まで **随時受け**!

テニス同好会

2018年春季合宿レポート 5月21日(月)～22日(火) 御殿場高原 時の栖(ときのすみか)

金森康泰



参加者 18名の雄姿



チーム対抗戦勝利の分かれ目となった試合



下馬評を覆し見事優勝のBチーム

二日間参加者の日ごろの行いを象徴するような好天に恵まれ、冠雪残る麗峰富士の裾野にあるテニスコートにて、史上稀に見る熱戦が展開されました。終了後、その熱気のため冠雪が少し減っていたという噂も(^_^) ☆

財団関係OBは上林さん、西岡さん、小笠原夫人、そしてわたくし金森の4名が参戦致しました(写真左)。

前回の合宿から採り入れられたチーム対抗戦(いわゆる団体戦)は、史上最多タイ18名の参加者を6名ずつ3つのチームに分けて実施されました。個人戦のことなど忘れ、“フォアザチーム”の意識を持ち、各員一層奮励努力した結果は大接戦!二日目終了間際までもつれる大乱戦となりましたが、下馬評では振るわなかった金森率いるBチームが13勝9敗と唯一の勝ち越し、見事前回の雪辱を果たしました!(^^) (写真右下)

《チーム対抗戦結果》

順位	チーム	勝敗	取得ポイント
優勝	B	13勝 9敗	60
2位	C	10勝 12敗	60
3位	A	10勝 12敗	57

※順位は勝敗が優先

※勝敗同率の場合はポイント数による

一方、個人戦では安定した実力を誇る上林さんと、出たところ勝負の金森が死闘を繰り広げ、なんと同点!年齢差で2位と3位を分かち合いました。優勝はこれも超僅差で鈴木(康)さんが初優勝という大接戦。金森は7勝1敗と勝ち数ではトップタイでしたが、負けた試合でもう1ゲーム取っていただければ逆に年齢差で優勝という際どい展開に悔しがること悔しがること(*_*) 西岡さんも小笠

原さんも手堅いプレイでチームに貢献し、新緑溢れる富士の裾野で気持ちのいい汗を流しました(写真右上)。

《個人戦結果》上位10位

順位	名前	平均ポイント	勝敗	チーム
優勝	鈴木(康)	3.625	6勝 2敗	B
準優勝	上林	3.5	6勝 2敗	C
3位	金森	3.5	7勝 1敗	B
4位	夏原FE	3.375	7勝 1敗	B
5位	田仲	3.25	5勝 3敗	C
6位	芦澤	2.875	4勝 4敗	A
7位	山内	2.857	4勝 3敗	A
8位	夏原M	2.833	3勝 3敗	B
9位	安田	2.714	3勝 4敗	C
10位	小笠原M	2.714	3勝 4敗	A

※試合数が異なるため総獲得ポイントをゲームで割り1ゲームあたりのポイントで順位決定

また今回は上林先輩のご発案で、夜の反省会の折、会員の自己紹介をすることとなり、各自5分程度、在職時代のこと・近況や人生への想い・テニス上達への心がけなどを披露。酒を酌み交わしながら大いに盛り上がり、更なる親睦を図ることができました。

※今回はリポーターのことがやけに目立つのではないかなというなかれ、滅多にないからたまには言わせてよ(-_-)

テニス同好会のお問合せ

世話役: 西岡 晃
nishioka@d03.itscom.net

ゴルフ同好会

第34回 財団ヤマハOB ゴルフ親睦会レポート 5月14日(月) 富士小山ゴルフクラブ 烏野隆弘



プレイ前の記念撮影

今年最初のOB ゴルフ親睦会が、2018年5月14日、富士小山ゴルフクラブにて開催されました。前夜の豪雨がうそのように晴れわたり澄みきった富士山麓の空気を感じ、コースの色々な場所から雄大な冠雪の富士を見ながら、最高のゴルフ日和になりました。

前日開催された「日本プロゴルフ選手権大会」でヤマハ契約プロの谷口徹選手がジャンボ尾崎選手の記録を更新する大会最年長記録の50歳で、プレーオフを制しての優勝が参加者の話題となりました。

参加者5組19名(内女性5名)によるハンディキャップ戦を制したのは、このコンペ初めての優勝になる今憲行さんでした。以下の表は6位までの入賞者です。また、コンペ初のイーグルを、朝いちばんスタートのOUT1番ホールで大屋洵さんが達成しました。

順位	プレイヤー	GROSS (OUT / IN)	HDCP	NET
優勝	今 憲行	99 (50/49)	27	72
準優勝	岩佐憲明	95 (48/47)	20	75
3位	大屋 洵	89 (43/46)	10	79
4位	雑賀辰雄	91 (42/49)	12	79
5位	北條哲男	105 (53/52)	26	79
6位	烏野隆弘	93 (48/45)	12	81



幹事(前回優勝)の増子明美さんから、今憲行さんへ優勝の授与

次回は、8月30日(木) 籠坂カントリークラブにて開催します。ご参加をお待ちしております。

ゴルフ同好会のお問合せ先

世話役：烏野隆弘
unofamily@jcom.home.ne.jp

ヤマハ・ガラ・コンサート 2018

6月10日(日) Bunkamura オーチャードホール(東京)



写真：加羽沢美濃さんと太田弦指揮による東京フィルハーモニー交響楽団との共演



菊地碧さんと永野雅晴さんの息の合った演奏



川上天馬さんがエレクトーンを熱演



観客に応える加羽沢美濃さん

毎年オーチャードホールにて開催されるヤマハ・ガラ・コンサートも今回で15回目を迎えました。以前はJOC、EF(EC)、マスタークラスとそれぞれのヤマハコンサートが分かれて行われていましたが、このガラ・コンサートの様に各コンサートの優秀者が一同に集結して演奏を披露してくれますと、改めてヤマハの音楽教育のすばらしさと可能性を確信することができました。

自作曲、既成曲、ピアノ演奏、エレクトーン演奏、ソロ、アンサンブルと形態や楽器は違っても、「創造性と感性」に裏打ちされた豊かなオリジナリティが、どの演奏にも共通して流れていることを今回も心から感じる事ができました。自分の音楽を表現しようとする子供たちの瑞々しい感性と躍動感、場内を大きな感動と拍手で包んでいました。

第2部のオーケストラとの共演では、ヤマハ音楽教室出身の加羽沢美濃さん

が登場。ご自身の作品3曲を東京フィルハーモニー交響楽団、太田弦さんの指揮で、JOC 楽曲1曲をピアノソロで披露してくれました。どの作品も、大自然や地球のやさしさ・パワー、そして人間の温かさがテーマに置かれ、広くゆったりとした優しさと大きさを加羽沢さんの音楽は客席に伝えてくれました。また、子供時代に作ったJOC作品のピアノソロ演奏は、客席の子供たちに親近感と大きな共感を与えたことと思います。4~5人の子供達からもらった曲名を瞬時にひとつの音楽にまとめる即興演奏も観客を沸かせました。加羽沢さんは「即興演奏は小さい頃から大好きでした。これもヤマハ音楽教室で育てていただいたお陰です」と話されていました。

長年に亘って培われてきたヤマハの音楽教育の確かさと純粋な子ども達の豊かな可能性が、これからも更大きく広がって欲しいと願わずにはおられません。

文・西岡晃

Program

【第1部】

- ① celebration!!
富岡万葵(14) エレクトーンソロ
- ② 組曲「ぼくの宇宙旅行」
山本響斗(9) 山本爽楽(14) ピアノ連弾
- ③ マリンバとピアノのための競走曲「Race!!」
菊池 碧(17) 永野雅晴
アンサンブル(ピアノ・マリンバ)
- ④ Ariel's Undersea Adventure
吉田心音(10) 吉田和奏(16)
アンサンブル(エレクトーン)
- ⑤ ソナタ 二長調 Hob.XVI-4 より 第1楽章
夢路より(Beautiful Dreamer)
五味結子(11) ピアノソロ
- ⑥ 喜びの島
上原 悠(15) ピアノソロ
- ⑦ 星影のステラ
川上天馬(18) エレクトーンソロ

【第2部】

- 〈共演〉指揮：太田 弦
東京フィルハーモニー交響楽団
- ⑧ 松田彩花(14) ピアノ
組曲「こどもたちの国」
1. おしゃべり 2. ブランコ 3. 鐘
4. 深い夜 5. おもちゃの世界
 - ⑨ 加羽沢美濃 ピアノ
穂高よ永遠なれ
ベリンジア(オーケストラ)
テキサス(JOC 作品)
(即興ピアノ演奏)
やさしい風

【TV 放送のお知らせ】
7月22日(日) 13:00 ~ 13:55 BS 朝日
ヤマハ・ガラ・コンサート 2018
~未来へつなぐ音楽の心~



写真：カーテンコールに応える出演者の皆さん

僕らのポップコンエイジ2018コンサート

5月6日(日) 府中の森芸術劇場・どりーむホール(東京)



写真：左より、相曾晴日、辛島美登里、石川優子、高原 兄、細坪基佳、中村貴之、Chage、三浦和人。後方右、平賀和人

〈セットリスト〉

- ①流恋情歌 / Chage 三浦和人
- ②終章(エピローグ)
- ③ N と L の野球帽 / Chage
- ④舞 / 相曾晴日
- ⑤ロータスの岸边 / 相曾晴日
- ⑥サルビアの花 / 相曾晴日・辛島美登里・スリーハンサムズ
- ⑦雨は似合わない
- ⑧白い冬 / スリーハンサムズ
- ⑨セ・ラ・ヴィ(それが人生)なんて早すぎる
- ⑩シンデレラサマー / 石川優子
- ⑪ふたりの愛ランド
石川優子とチャゲ
- ⑫完全無欠のロックンローラー
- ⑬夢想花 / 高原 兄
- ⑭秋時雨
- ⑮愛はかげろう / 三浦和人
- ⑯雨の日
- ⑰愛すること / 辛島美登里
- ⑱出発の歌 / 出演者全員

オープニングは Chage と三浦和人登場 相曾晴日、スリーハンサムズへ

ブルーを基調にした照明の中に、ピンスポットが Chage と三浦和人(元雅夢)を浮かび上がらせる。歌は「流恋情歌」だ。懐かしい。直後の前説で、「僕たちはオープニングアクトだ」と言う。種明かしを楽しみにしよう。

ステージを引き継いだ Chage が披露したのは2曲。「終章(エピローグ)」と「N と L の野球帽」だ。「終章」は、19歳の時に作った曲。1月に還暦を迎えた Chage は実に40年を越える長い時間を歌い続けたことになる。「N と L…」は、高度経済成長期の昭和44年(1969)を西鉄ライオンズの帽子に重ねて切り取った曲だ。

次に登場したのは、相曾晴日。演奏は、「舞」。水彩色の声は、変わることがない。そして、ピアノの弾き語りで、「泥の中に佇む美しい花」を歌った可憐な曲「ロータスの岸边」を歌った。

相曾晴日が呼び込んだのは、スリーハンサムズと辛島美登里。ポップコンの初期を代表するひとつ、「サルビアの花」。1番を相曾晴日が、2番を辛島美登里がソロをとった。

ステージは、スリーハンサムズに引き継がれる。細坪基佳(元ふきのとう)と中村貴之・平賀和人(NSP)が、故天野滋氏の七回忌に結成したユニット。披露されたのは2曲、「雨は似合わない」と「白い冬」はそれぞれ NSP とふきのとうが1974年に発表した曲。“ベテランの味”が滲む演奏を聴かせてくれた。

石川優子と高原兄が熱演

石川優子の登場で、一気に華やぐ。26年ぶりにステージに復帰したのは、2年前の〈僕らのポップコンエイジ〉。それでも“落ち着かない。妙に緊張する”とは石川の弁。しかしステージは、堂々としたものだ。1曲目は「セ・ラ・ヴィ(それが人生)なんて早すぎる」。石川の代表作のひとつだ。そして、「シンデレラサマー」を歌唱。客席から声援が飛び交う。

Chage が再登場。「ふたりの愛ランド」イントロと同時に会場は総立ちとなった。振り返ると“石川優子とチャゲ”をライブで観る機会は少なかった。貴重なライブシーンである。

さらに会場を熱狂させたのは、グレート高原こと高原兄(元アラジン)。冒頭の前説“オープニングアクト”の種明かしでもある。“ショータイムはこれからだぜ……、から始まる「完全無欠のロックンローラー」。1981年当時と変わらない熱演を展開した。女声コーラスは、石川優子と相曾晴日、辛島美登里。辛島の恥ずかしそうな仕草が愛らしい。高原兄は、もう一曲に「夢想花」を選曲。“とんで、とんで……”のサビで腕を廻す演出で会場は一体となった。

三浦和人と辛島美登里から終盤へ

ムービングライトの動きがおさまりに静かな雰囲気にもどる。

ステージに立ったのは三浦和人。気持ちを整えるような仕草のあと、静かに「秋時雨」を歌った。抑制のきいた歌唱が観客の想像力をかき立てる。そし

て、「愛はかげろう」を披露した。

ラストを飾ったのは辛島美登里。1曲目は「雨の日」。1984年シングル発売以来、封印していたという。〈僕らのポップコンエイジ〉への参加がきっかけで、その封印が解けたようだ。そして、「愛すること」。自身の1995年シングルをハンドマイクで歌って本編を締め括った。

〈僕らのポップコンエイジ2018〉のエンディング曲は「出発の歌」。ポップコンの原点ともいえる曲を、出演者全員で歌って終演を迎えた。

歌は不思議だ。最初に聞いたときとは異なる感動を受ける。時の経過や年齢の積み重ねによって、楽曲の持つ歌詞の意味や解釈が自分自身の内面で成長しているのだろう。それは、アーティストたちも同じように感じているのではないだろうか。楽曲は、アーティストとそれを受け止めるリスナーとの間で育て合うものなのでしょう。文・菅義夫

〈僕らのポップコンエイジ2018〉コンサートは、府中の森芸術劇場・どりーむホールのほか5月5日(土) 神戸国際会館こくさいホール、5月12日(土) よこすか芸術劇場、5月20日(土) サンシティホール大ホールで開催されました。全4公演には、相曾晴日、石川優子、伊丹哲也、伊藤敏博、辛島美登里、クリスタルキング・ムッシュ吉崎、柴田まゆみ、庄野真代、杉山清貴、スリーハンサムズ、高原兄、谷山浩子、三浦和人、Chage の総勢14アーティスト・ユニットが集い熱演。拍手喝采とともに終演しました。

写真提供：僕らのポップコンエイジ事務局
取材協力：株式会社ヤマハミュージックエンタテイメントホールディングス

ひろしまの集い 開催

この歳になりますと無性に昔のことが懐かしくなるものです。

広島では去る3月29日、二年ぶりに「ヤマハ音楽教室・ひろしまの集い」を開催いたしました。会場には東は東京、西は九州より40名の懐かしい面々が顔をそろえ、昔話に花を咲かせました(写真)。

今は昔、支店の音楽普及課には第一係、第二係があって、広島支店は越智主任、馬頭主任、たまたま私が双方の主任にお仕えていたという職場の風土もあってのことか、この会には元

システムの講師さんをはじめ財団職員、加えて元ポップコンサートの連中が何の違和感もなく同席するという風変わった集いなのです。

今回も元柳ジョージ&レイニーウッズのリーダーとして活躍していた上綱克彦君も参加してくれて、当時の仲



間の和田基光君(FM愛媛勤務)も加わって、彼のオリジナル曲を披露してくれるなど、会を盛り上げてくれました。

往年のヤマハのパワーを久々に感じさせてくれた一日となりました。

牛尾孝慈(「ひろしまの集い」世話人)

POPCON おすすめ CD

POPCON を聴きたい方々に朗報。高音質で甦った、「ポップコン・コンピレーション CD シリーズ」2 作品を紹介します。

ポップコンバラードコレクション



Blu-spec CD2
2,000円(本体)+税
YCCU-10049
ヤマハミュージック
コミュニケーションズ

- ① 蜷気楼 / クリスタルキング
- ② 白いページの中に / 柴田まゆみ
- ③ セプテンバー・バレンタイン / 佐々木幸男
- ④ レイク・キャビンのほとりにて(水彩画) / 相曽晴日
- ⑤ わかって下さい / 因幡晃
- ⑥ あなた / 小坂明子
- ⑦ 歌は世につれ / NSP
- ⑧ 愛はかげろう / 雅夢
- ⑨ ひとり咲き / CHAGE&ASKA
- ⑩ ニール・サイモンも読みかけのままで / 石川優子
- ⑪ 愛を心に / エディ山本
- ⑫ いつわりの愛 / 下成佐登子
- ⑬ 哀歌 / 金子裕則
- ⑭ 時代 / 中島みゆき
- ⑮ Love Song / ツイスト
- ⑯ 夜間飛行 / 八神純子



Blu-spec CD2
3,000円(本体)+税
YCCU-10050 ~ 1
ヤマハミュージック
コミュニケーションズ

POPCON Remastered BEST

- DISC-1
- ① 大都会 / クリスタルキング
 - ② みずいろの雨 / 八神純子
 - ③ 流恋情歌 / CHAGE and ASKA
 - ④ Lonely Lonely / 門あさ美
 - ⑤ 君は風 / 佐々木幸男
 - ⑥ コーヒーハウスにて / 相曽晴日
 - ⑦ 哀歌 / 金子裕則
 - ⑧ 想い出まくら / 小坂明子
 - ⑨ 涙のリクエスト / チェッカーズ
 - ⑩ シンデレラサマー / 石川優子
 - ⑪ 白いページの中に / 柴田まゆみ
 - ⑫ カントリーガール / 谷山浩子
 - ⑬ 完全無欠のロックンローラー / アラジン
 - ⑭ 愛はかげろう / 雅夢
 - ⑮ 傷心 / 大友裕子
 - ⑯ 水鏡 / 鈴木一平
 - ⑰ サルビアの花 / もとまろ
 - ⑱ あなたのバラード / 世良公則&ツイスト

- DISC-2
- ① ひとり咲き / CHAGE and ASKA
 - ② 待つわ / あみん
 - ③ 銃爪 / 世良公則&ツイスト
 - ④ 街が泣いてた / 伊丹哲也 & Side By Side
 - ⑤ 花ぬすびと / 明日香
 - ⑥ わかって下さい / 因幡晃
 - ⑦ アザミ嬢のララバイ / 中島みゆき
 - ⑧ ひとりぼっちの部屋 / 高木麻早
 - ⑨ 想い出のスクリーン / 八神純子
 - ⑩ 夢想花 / 円広志
 - ⑪ ふられ気分で Rock'n' Roll / TOM ☆ CAT
 - ⑫ 夕暮れ時はさびしろう / NSP
 - ⑬ 秋の一日 / 下成佐登子
 - ⑭ サヨナラ模様 / 伊藤敏博
 - ⑮ ふたりの愛ランド / 石川優子とチャゲ
 - ⑯ グッドバイ・モーニング / サンディー
 - ⑰ あなた / 小坂明子

編集後記

春になり、コーラスとテニス、ゴルフ同好会は活動を始動させました。コンサートは、5月に〈僕らのポップコンエイジ〉、6月に〈ヤマハ・ガラ・コンサート〉が開催。前者は3年目、後者は15回を迎えました。本号では、それらの模様をレポート。事務局からは、「事務局だより」ページで、活動近況を含めてお知らせを掲載いたしました。今後は、同窓会会員の活動にも誌面を割きたいと思っております。

〈事務局メールアドレス〉

お問合せ、ご感想・ご意見は下記のアドレスまで
z.dousoukai@gmail.com

ヤマハ音楽振興会同窓会通信 第35号

2018年6月29日発行 通巻36号

発行元：ヤマハ音楽振興会同窓会

発行人：酒井勉

編集長：菅義夫

編集委員：荒井輝四郎 生駒芳正 鳥野隆弘 緒方実
雑賀辰雄 西岡晃 渡辺章 (五十音順)